



第34回総会で挨拶する平山会長
 一道高校教職員センターで(12年3月4日)



発行
 北海道高等学校
 退職教職員の会
 札幌市中央区
 大通西12丁目
 高校教職員センター
 電話
 011-261-7060

教育を守る活動や原発撤退運動を
 二〇一二年総会終わる
 併せて米寿喜寿顕彰式、

新会員歓迎会、全道交流会を開催

道高退教第三十四回総会、米寿喜寿顕彰式・同祝賀会、新会員歓迎会、全道交流会が、三月四日(日)に開催され、全道から七十九名が参加し、成功裡に終了しました。

総会は、平山耕佑会長挨拶の後、来賓の道退教加藤活男副会長から連帯のご挨拶をいただき議事に入りました。議事は、一一年度経過報告、会計報告、監査報告を承認し、一二年度活動計画案、予算案が提案され、原案通り承認されました。

役員改選は、渡辺紀男副会長、高橋睦朗監査が退任し、新たに事務局次長に成田收氏、監査に蒲野彰一氏を選任しました。大澤淳基事務局長の行った経過報告は、①「楽しみ七分」の分野で、全退教ツアーや釧根支部企画の全道親睦交流旅行を始め、各支部での多様な催しが行われたこと。②「活動三分」では、全会員で取り組んだ「全国教育署名」、大阪府の「教育基本条例」反対の取り組み、現職の話を聞く会など、教育に関する運動が展開されたこと等が報告されました。

活動計画案では、①引き続き「楽しみ七分、活動三分」の取り組みを各支部で大いに展開する。②現職と連携し、「教育を守る」運動を強化する。③原発反対、消費税増税反対など、後期高齢者医療制度の廃止を反故にした民主党政権に、高齢者の諸

要求運動を一層強める。④会員増やし目標の三〇人を達成する。⑤会費納入率の向上と高教組補助金の廃止等による財政基盤を強化するため、一層の経費節減を行いつつ、今年度中に入会金の削減又は廃止、会費の見直しを含む財政確立の方向を提示する、等々が強調されました。質疑討論では、「楽しみ七分」の活動をもっと活発にすべきであるとの意見や、上川支部の「全国教育署名」の先進的な取り組みなどが報告されました。

米寿喜壽顕彰は、参加した一八人の顕彰者に頌書が授与され、顕彰者を代表した挨拶で、米寿の米倉正夫さん(函館)が、今も元気にボランティア活動に参加している様子を詳しく述べられ、これからますます頑張りたいと決意が表明されました。

新会員歓迎は、新会員の四人から挨拶があり、長寿顕彰・新会員歓迎の祝賀・歓迎の全道交流会に移り、道高教組本部大会を終え会場に駆けつけた、道高教組櫻井幹二委員長から連帯の挨拶を受けたあと、全道各地から参加した会員の近況報告等々が行われ、楽しくも意義ある交流が繰り広げられました。

なお大会では、最近の教育の統制、教職員への管理と監視を強める道教委の諸施策に抗議する「大会決議」が採択され、決議文は三月七日道教育長に提出されました。

出 会 い

七飯町 米倉 正夫

今年、二〇一二年三月、高退教の総会・米寿の祝いに招かれた。米寿で出席したのは私ひとりであったので代表して挨拶した。一人

でも共感していただければ有難いと思った。

十年前、9・11「同時多発テロ事件」が起こり、ブッシュ大統領の「テロ戦争」開始、小泉首相の「同調」。自衛隊の中東派遣をめぐって世論は緊張した。「特別措置法」が国会の審議会に提起され、帰国中の医療NGO「ペンヤワール会」代表の中村哲医師が証言した。「自衛隊の海外派兵は、戦争中の米軍と同根であり、有害無益」と断じた。与党の激しい野次を浴び、撤回を迫られたが、中村氏は動じる様子もなかった。私はこの小さな記事に注目した。翌



挨拶する 米倉正夫さん

十一月、酪農学園大学講座で、中村氏の講演を聞いた。スライドを写しながら淡々と語る、アフガンの井戸掘り、用水路建設、医療活動の語り口に魂をゆさぶられる思いがした。「この人を見よ」と内なる声が聞こえたように思った。フロアーから手を挙げ、「帰ったら支援をは



じめます。」と思わず声をはりあげた。中村氏はジーンと私を見つめて「お願いします。皆さんも、」と言葉少なに言った。「男の約束」と言えば浪花節と言われそうだが、そんな心境だった。

人生の節目に多くの方に出会ってきたが、この十年間、中村哲さんもその一人であった。感謝すべきことに、函館道南では共感して下さる仲間が沢山いた。03年と08年には中村哲氏の講演会を行った。七・八百人規模の集会、入会者、支援カンパも多く送金できた。10年、ペシャワール会伊藤和也氏の追悼展示会も開いた。

同年、ペシャワール会は、「ペシャワール会26年目の闘い」としてDVD「アフガンに命の水」を発行した。小・中・高の子どもたちの「命と平和」の教材として、私が居住する七飯町と函館市の小・中・高に寄付することができた。12年度は、渡島・檜山の諸学校に普及ができるよう期待している。

喜寿雑感

北見市 小林 輝男

喜寿の祝ありがとうございます。これを期に更に時を重ねていきたいと思っておりますので宜敷お願いいたします。

現役終了とともに、自分だけの源氏物語なるものを見出したいとの思いで、現役の時とは違う方法の勉強を続けて今日に至りました。その結果、従来に言われていた「ものあわれ」、「ものすくせ」に加えて「ものありよう」と言えるものを見出すことが出来ました。これが一つの成果と言われるのですが、これに関わる論拠をさがすのが大変でしたが、幾つかの書物により確かめられました。また一抹の不安がありますので、勉強を続けなければなりません。凡人の手にはなかなか負いきれないで、先に進むことは難しさは増すばかりです。

源氏物語を読んで、何が読み取れるものだろうか。今までの読み取りでは不十分ではないだろうか、との思いが何時もありましたが、ものありようということを見出してからは、このことを基に読み取りを続けて来ました。源氏物語の全てに、人の両端に存在する美しきものと醜きものとが表現されていることでした。人の内にあるものと外にあるものとに在るものですが、それが人の言動となり、生活を形成し人生があることを読み取れました。

生命あるものとして存在することは、生命を生み、生命を育み、そして生命を継承していくことは、人として生まれ、人間として育ち、人となって現世を形成していき、それを後人に伝承し

ていくことが、生命あるものとしての責務であることを知らされる物語でもありました。読み取ることが、どんなことなのか、それを知らされる物語に出会えたことは幸せなことかも知れません。

自分だけにしか語れない物語の内面を読み取れる日を目指して源氏物語の取り組みを続けて行きます。

入会にあたって

角江 嘉昭

三月三、四日に第114回高教組定期大会があり、そこで仲間たちに、退職前の最後の発言を行いました。その後高退教の歓迎会に参加させていただきました。非常に不思議な感覚でした。ちよつと前までは最年長で、そのすぐ後では最年少です。多々の懐かしい顔を見つげ正にタイムスリップとはこういうものかと思いました。夕張工業高校時代の諸先輩にも再び出会い、いっぺんに二十数年前に戻ってしまいました。

改めて退職した事実を噛みしめながら、今の学校教育の置かれている現実と、今後何をなすべきなのかがちよつと分からなくなっている自分に気が付きました。

昨今の教育界はまさに狂っているのではないかと思う状況になっています。大阪、東京の話ではなく、この北海道でも異常な状況になっています。

それは道教委が文科省の指示で行っている勤務実態調査のこ

ことです。退職者に対し先行調査が行われました。道教委から担当係りが来て、個別に事情聴取を行うというものです。それに先立ち校長は、各自に事情聴取にちゃんと答えるようにと職務命令を発しているのです。私が聞かれた中身は五年前の十四時から行われた定時制通信制振興会の会議に参加したことを聞いたですものと、三年前の全日の職員会議録に十六時半から行うと書かれた分会会議に参加したかどうかを聞いたですものでした。前者は市内の定時制で行われている立派な教育活動ですし、後者だつて定時制に勤務する私には関係のない話ですが、それにも関わらず職務命令までかけられて事情聴取を受けさせられたことはまさに不当労働行為そのものです。これの聞き取りを事務長がすべて記録させられています。この不当な事情聴取をこれから現役の全教職員に対しても行われるのです。

教職員の研修に対しても執拗な攻撃が続き、長期休業中の自宅研修は一切認めない動きになってきています。

事務長が私に対してしみじみと「いい時に退職されますね。」と言っていたのが今の学校の状況を物語っています。

今、高退教の一員になり、現役は退いたとは言えこの状況を黙って見ているわけには行かない心境です。そんな自分にいったい何ができるのか諸先輩のお知恵を借りながら、高退教と高教組の有機的な活動ができるといいなと考えています。今後ともよろしくお願い致します。

ご寄付のお礼

道高退教活動資金としてご寄付をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

札幌支部

細田 誠さん

函館支部

境沢 須美子さん

日胆支部

米倉 正夫さん

後志支部

菊地 尊征さん

園田 美根子さん

寄付は左記郵便局口座にお寄せ下さい。

【郵便局払込】郵便局窓口にある「払込取扱票」で払込ができません。

【口座番号】 ゆうちよ銀行口座

(店名) 九〇八(キユウゼロハチ)

(口座番号) 0792462

【名前・受取人】 北海道高退教

◇通信欄には「寄付金」とご記入下さい。

年会費を納入しよう

道会費の年会費は、千円ですが、各支部の年会費は支部によって違いがあります。郵便局の「振替払込取扱票」が支部から送付されています。未納の方は、払込をお願い致します。

会員増やし運動を引き続き取り組みましょう

|| 若い会員の力を發揮して ||

5月14日現在、新規加入者は29人(高教組組合員27、管理職1)となっております。今年の会員増やし目標は30人で、あと一人で目標達成です。今、高齢者をめぐる状況は、民主党政権下で「後期高齢者医療制度」の呼び名を変えた温存策、年金削減と年金「一元化法案」が準備されている厳しい現状下、高齢期運動を一層発展させるために、目標の突破をめざしましょう。最近退職した若い会員の力を結集し、退職者の友人、知人に加入を訴えましょう。

会員討議資料のお知らせ

財政問題の「会員討議資料」を同封しました。入金金、会費の変更の提案がされています。意見を支部本部にお寄せ下さい。



謹んでご冥福をお祈りいたします。

- 山田 義雄様(滝川―滝川市)
- 松永 壽様(月形―岩見沢市)
- 三浦 国彦様(室蘭栄―札幌市)
- 澤田 茂様(旭川工業―旭川市)

新役員紹介



一 彰 野 計 監 査 会



成 田 收 事務局長

文芸 川柳

酒が出て円く納まる遺産分け
忘年会三次会はおでん屋へ

佐藤 善也(84歳)

編集後記

文芸欄に限らず原稿の応募をお待ちしています。
どしどしお寄せください。

札幌での桜の開花はメーデーの日で、こんなに暑いメーデーは初めてだとの参加者の声がありました。なんと気温は25℃超えの夏日でした。93歳の方もデモ行進に参加しており、年を取ったなどと愚痴をこぼしてはられません。二日以降は天候が悪化して、五月としては記録的な大雨や竜巻の発生、そしてオホーツク海沿岸での降雪と続きました。最近では異常気象が頻繁に起こり、それが普通の現象となっています。政治も似通っているようです。

三月に初入院し、右の顎下腺腫瘍を切除する手術を受けました。まだ首も回らない感触があります。古川柳に「ぼた餅を喰たて首がまわるなり」があることを思い出しました。次のペンネームは顎下右前に決めました(蛇足です)。(佐藤)

